

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		8,038	99	8,470	76	105	75	-	-	青森、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。青森産は、干ばつと低温の影響により、前年より7日から10日程度生育が遅れており、6月初めからの出荷となる見込み。出荷量は前年並みの見込み。千葉産は作付け減のため、出荷量は前年をやや下回り、6月中旬には切り上がる見込み。全体の入荷量は前年並み、価格前年を上回る見込み。
にんじん		6,914	95	6,999	102	176	134	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。作付けは前年並み。出荷ペースは前年よりも遅れている。出荷ピークは5月下旬から6月上旬。出荷は6月いっぱい終了する見込み。出荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。
はくさい		5,263	100	5,741	54	102	61	-	-	長野、群馬産等関東産が市況をリードする。長野産の出荷は前年並みの6月10日前後から始まり、出荷量も前年並みと見込まれる。群馬産は6月5日過ぎから出荷が始まり7月中旬までまとまった量が入荷する見込み。全般的に入荷量は前年並、価格も前年並みとなる見込み。
ほうれんそう		1,626	100	1,546	352	114	422	1	-	岩手、埼玉が主産地となる。岩手産は干ばつの影響で出荷が遅れているが、6月には回復する見込み。6月全体としては出荷量の少なかった前年を上回る見込み。埼玉産は露地作の出荷が始まる。生育は順調で入荷は前年並の予想。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。
キャベツ類		13,972	100	14,991	68	103	67	-	-	千葉、茨城産中心の入荷で全体の約6割を占める。千葉産は連休明け後少な目の入荷が続いていたが、5月下旬から入荷量は増加し、6月としては前年並みの入荷となる見込み。茨城産は5月下旬から出荷が始まり、6月上、中旬がピークとなる。入荷量は前年並みの予想。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ねぎ		4,367	98	4,481	256	109	253	3	0.1	茨城、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産の夏ねぎは5月下旬から出荷が本格化し、6月上中旬にピークとなる。茨城産は5月下旬から入荷量が増え、6月中旬がピークとなる。ピーク時の入荷量は日量2万5千ケースと予想。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
レタス類		7,480	105	7,909	132	76	119	-	-	長野、群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。長野産は6月上旬にピークを迎え、中旬以降は入荷量は減少する見込み。サイズは16玉中心で品質は良好と見込まれる。群馬産は5月下旬から入荷量が増加し6月10日頃にピークを迎える。生育は順調で、出荷量の少なかった前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は高騰した前年を大きく下回る見込み。
きゅうり		7,518	100	7,825	196	103	187	159	2.1	埼玉、福島産中心の入荷で全体の約5割を占める。埼玉産は5月中旬の低温の影響により出荷が停滞したが下旬には平年並みに回復。6月はピークに入り順調な入荷と見込まれる。福島産は主力である半促成の出荷が低温のためやや遅れている。出荷ピークは6月上旬で作柄は前年並みと見込まれる。全体の入荷量は前年並、価格は高値であった前年をやや上回る見込み。
なす		4,073	98	4,069	261	116	293	-	-	高知、福岡、群馬産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は天候不順の影響により4、5月は前年の7割の出荷量であったが、6月は前年の8～9割に回復する見込み。群馬産は5月下旬からピークに入るが、6月は梅雨の時期となるため入荷量は減少する見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		9,280	99	9,615	226	97	218	185	2	栃木、千葉、愛知産中心の入荷となる。栃木産は5月中旬以降少ない目が入荷が続いている。6月も平年を下回る入荷となる見込み。千葉産は低温と日照不足の影響で着果が悪い。6月も品薄となり、入荷量は平年を下回る見込み。愛知産は出荷終盤に入っているが、ほぼ前年並みの出荷見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は昨年を下回る見込み。

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ピーマン		2,828	95	2,739	246	142	249	-	-	茨城産中心で全体の約9割を占める。茨城産は、植え付けの遅れと低温の影響により、3週間程度の遅れとなっている。出荷ピークは5月末から6月にかけての見込み。入荷も前年を下回り、価格は安値だった昨年を大幅に上回る見込み。
ばれいしょ		8,969	93	8,465	78	154	116	-	-	長崎、静岡産中心の入荷となる。長崎産は例年であれば5月下旬にピークとなるが低温で収穫が遅れている。6月は大きなピークはなく経過すると予想される。静岡産は出荷初めが6月初めとなる。出荷ピークは7月に入ってからとなる見込み。作付けが減少しているので、出荷量も前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
たまねぎ		10,662	95	11,501	62	121	77	-	-	佐賀、香川産中心の入荷で全体の約6割を占める。佐賀産は5月下旬から早生から中生に切り換わる。入荷量は乾燥作業に入る6月中旬頃に減少する見込み。香川産は生育順調で豊作傾向となっている。全体の入荷量前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。